令和5年度　第3回田原市地域公共交通会議会議録

会　議　名	［第65回］令和5年度 第3回田原市地域公共交通会議
開 催 日 時	令和6年1月17日（水）10：00～12：00
開 催 場 所	田原市役所　大会議室（北庁舎1階）
出 席 者 氏 名（敬称略）	**（委員）** ○田原市副市長　鈴木　正直**[会長]** ○田原市都市建設部長　鈴木　洋充**[副会長][議長]** ○豊鉄バス株式会社常務取締役　（代理）縄稚　泰三 ○豊鉄ミデイ株式会社取締役支配人　西山　恭昭 ○渥美交通株式会社代表取締役　鈴木　雅 ○公益社団法人愛知県バス協会専務理事　小林　裕之 ○愛知県タクシー協会豊橋支部長（豊鉄タクシー㈱取締役社長）　長縄　則之 ○豊橋鉄道株式会社代表取締役社長　（代理）坂野　真 ○東海北陸旅客船協会（伊勢湾フェリー㈱取締役社長）（代理）中岡　賢市 ○田原市老人クラブ連合会長　長神　隆志 ○田原市地域コミュニティ連合会長　本田　雅彦**[監事]** ○一般社団法人田原青年会議所理事長　（代理）加子　貴啓 ○田原市民生児童委員協議会主任児童委員　柴田　邦子 ○国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官 （輸送・監査担当）　宮川　高彰 ○豊橋鉄道労働組合中央執行委員長　（代理）廣田　勉 ○愛知県東三河建設事務所維持管理課長　堤　一史 ○豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授　松尾　幸二郎 ○一般社団法人渥美半島観光ビューロー専務理事　（代理）大羽　耕一 **（事務局）** □都市建設部街づくり推進課長　鳥居　伸光 □都市建設部街づくり推進課　都市政策係課長補佐兼係長　彦坂　洋二郎 □都市建設部街づくり推進課　都市政策係主査　下村　英樹 □都市建設部街づくり推進課　都市政策係主事補　川嶋　勇希 □福祉部高齢福祉課長　河合まり子
欠 席 者 氏 名（敬称略）	○田原市商工会副会長　天野　英一郎**[監事]** ○愛知県都市整備局交通対策課担当課長　石屋　義道 ○愛知県田原警察署交通課長　兵藤　収 ○名古屋大学大学院環境学研究科教授　加藤　博和**[副会長]**
報 告 事 項	(1) 伊良湖本線・支線（豊鉄バス㈱）の乗降者実績について (2) 公共交通に関する利用促進の取組について

協　議　事　項	⑴ 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価（案）について ⑵ 第3次田原市地域公共交通戦略計画（地域公共交通計画）の策定（案）について		
会議の要旨	以下のとおり。	**傍　聴　者**	2名（随行者2名）
	［１　会長挨拶］		
鈴木会長 （副市長）	皆様、少し遅くなりますが、新年　あけまして　おめでとうございます。委員の皆様方には、日頃、田原市の公共交通に関しまして、ご尽力いただき、誠にありがとうございます。 本年、静かな年明けを迎えたと思っており、自宅で元旦はニューイヤー駅伝を観戦しました。結果として地元トヨタ自動車が8年ぶりの王座を奪還し喜んでいた矢先、16時10分に能登半島で大災害が発生し驚きました。被害に遭われた方にはお見舞いを申し上げます。田原市としては、愛知県からの依頼を受け、その日のうちに消防本部から応援隊を能登半島に送りました。現在までに消防は第 3 次隊まで派遣しており、その他として、家屋評価や給水車等の支援を予定しています。長期の支援が必要と感じていますので、しっかり対応していきたいと考えています。 さて、公共交通に関しては昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響等で低迷していた公共交通利用者数については、5類に引き下げられた影響等により回復傾向となりました。ただ、コロナ禍前の水準には完全には戻っていないのも事実でありますので、引き続き利用者の利便性向上、利用促進に努めてまいりたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。 本日の協議事項は、次第に記載させていただいております2件となっております。慎重審議、よろしくお願いいたします。以上で、挨拶とさせていただきます。 続きまして、交通会議設置要綱第9条第2項に基づき、本会議の議長は、会長の私が指名することになっております。副会長の田原市都市建設部部長の鈴木委員を指名させていただきます。 それでは、以後の進行をお願いいたします。		
鈴木議長 （都市建設部）	新年あけましておめでとうございます。議長ということですので、円滑にかつ有効な議論ができるようにと思っております。 それでは皆様のご協力をいただきスムーズに進行していきたいと思います。本日は報告事項が2件あります。まずは⑴ 伊良湖本線・支線（豊鉄バス㈱）の乗降者実績について豊鉄バス様から説明をお願いします。		
	［２　報告事項］ **⑴ 伊良湖本線・支線（豊鉄バス㈱）の乗降者実績について**		
縄稚委員 （豊鉄バス）	※豊鉄バスより【資料1】について説明。		
鈴木議長 （都市建設部）	ありがとうございます。ただいまの内容に質問ございますか。		

松尾委員 （豊橋技科大）	質問ではなくコメントになりますが、伊良湖支線の輸送量少し回復したことまだまだ安心できないですが、ひとまず良かったです。輸送量の他に乗車密度という考え方がありますが、密度が低いと国から補助金が全額支払えられず、カットされてしましますので、輸送量同様、乗車密度も増加させられる取組を行ってもらえたらと思いますし、そういったことは次計画にしっかり記載されていると思っています。
鈴木議長 （都市建設部）	ありがとうございます。それでは次の報告事項について説明をお願いします。
事務局 坂野委員 （豊橋鉄道）	**（2） 公共交通に関する利用促進の取組について** ※事務局より説明【資料2－1、2－2、2－3】 ※豊橋鉄道より説明【資料2－4】
鈴木議長 （都市建設部）	何か質問がございますか？
松尾委員 （豊橋技科大）	2－1及び2－2について、会場までは公共交通を利用して移動しているのですか？今後の利用を考えて時刻表の見方やモデルコースを作ること等を豊川市で実施していたが今後そういった取り組みは考えられますか？
事務局	まず、会場までの移動方法については、移動方法についてもイベントの一部となっていますので、公共交通を利用したものとなっています。次に豊川市が実施したモデルコースの作成等の取組についても豊川市に確認を行い対応していきたいと考えています。
事務局	**［３　協議事項］** **(1) 令和５年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価（案）について** ※事務局より説明 【資料3－1、3－2】
鈴木議長 （都市建設部）	何か質問がございますか？ 質問も無いようですので、ただいまの協議事項について、承認いただける方は挙手をお願いします。 ※全員挙手。全会一致で承認。（一部誤字修正）
事務局	**(2) 第３次田原市地域公共交通戦略計画（地域公共交通計画）の策定（案）について** ※事務局より説明 【資料4、4－1】

鈴木議長 （都市建設部）	ありがとうございます。何か内容に関して質問等ございますか。
宮川委員 （愛知運輸支局）	第4章の補足として、今回事務局から補助系統と計画の連動化について説明がありましたが、この理由としては地域で守っていく公共交通を審議いただきそれを支援するということで考えており、そういった考えを地域の計画に落とし込んでいってほしいという考え方となっていることをご理解いただきたいと考えています。 また、質問としては施策展開ではライドシェア等の記載を削除したが、第2章の重点施策には記載があるがこちらについてはどういった整理となっていますか。
事務局	重点施策の中にライドシェアを残している理由としましては、事務局再度の引継ぎ的に取組の内容を少しでも具体的な記載として残すことを考えたものですが、こちらについては持ち帰って記載方法を検討します。
松尾委員 （豊橋技科大）	2点あります。1点目は宮川様と同様の内容です。ライドシェアは明確に書く必要はないと思います。どちらに転ぶかもわからない制度だと考えております。 もう1点は、これは修正ではありませんが、68頁の黄色になっている運転手不足による運行確保はとても重要な課題だと認識しています。こちらについて具体的な取組イメージはありますか。
事務局	1点目については先ほどの回答のとおりです。2点目のご質問について、行政として具体的な取り組みはイメージされているかということですが、こちらについては担当者と口頭で相談をしているぐらいの話ししか無いですが、この計画に記載しているとおり、行政も関わっていかなければならない問題だと認識しています。
松尾委員 （豊橋技科大）	運転手不足は短期的な確保や長期的な確保があると思います。長期的な問題としては賃金の問題があります。長期的な部分については国に依頼していくしかないと思います。非常に重要な問題だと認識しています。
縄稚委員 （豊鉄バス）	2024年問題等あり、今のダイヤを維持するのは非常に難しいと考えています。今後ダイヤの修正は必要と考えています。一つ質問ですが、目標に書かれている費用負担について、財政負担はスケールダウンすれば目標は達成すると思うがそういったことを考えているのか。
事務局	スケールダウンは考えていません。これはあくまで今の運行サービスを維持した上で利用者を目標達成、経費を物価高騰等による上昇があることを試算上での結果となります。決してスケールダウンではございません。
縄稚委員 （豊鉄バス）	利用者については当社としては中々維持が難しいと考えています。特に高校生が減っていく中で無理を目標にするというのならそれはしょうがないと思いますが、いかがでしょうか？

事務局	達成目標としてはこれを目指していきたいと考えています。
鈴木議長 （都市建設部）	今の部分は資料4－1の利用者数の達成目標の部分で良いですか。
縄稚委員 （豊鉄バス）	はいそうです。
松尾委員 （豊橋技科大）	今の議論は非常に重要な部分だと思います。財政負担については利用者数と連動しているので、この目標が達成できなかった場合、評価指標としてはあくまで利用者数が達成できなかったことが言えると思います。その上でこの148万人が達成できるかという話があります。計画本体では交通モード毎の利用者数にブレークダウンしているものがあります。それがどういった経緯で導き出されたものでそれが実現可能か検討する必要があると言えます。
事務局	148万人の計算方法ということですが、こちらは令和元年度の9割で考えおり、これは令和4年度と比較すると大きくなっているように見えますが、令和元年度から比較すると目標値は下方修正しているものになります。その中でこの数字は決して低い目標ではありませんが、達成可能な目標であると考えています。
事務局長	補足する計画案の18頁に令和元年度の数字が載っていますのでこちらに9割を乗じてもらうと目標値になります。目標値については改訂委員会の中で委員さんに目標値についての了承をもらっています。
松尾委員 （豊橋技科大）	従いまして評価する時にこれは高かったなということにならないように頑張っていかなければならないと思います。この目標値についてはもっと細かい数字をなると令和元年度の輸送量も参考にしては良いかと思います。
鈴木議長 （都市建設部）	それでは、ただいまの協議事項について、修正が必要な場所については会長一任という形で修正を行う形で、承認いただける方は挙手をお願いします。 ※全員挙手。全会一致で承認。
鈴木議長 （都市建設部）	ありがとうございます。 それではこれにて議長の任を解かせていただきたいと思います。
事務局	**［4　その他］** **（1）意見・情報交換** 1点ご報告があります。豊鉄バス様のICカード利用については令和6年度末に導入予定になります。またぐるりんバスのQRコード決裁については今年度中に導入予定になります。
事務局	**（2）次回の開催予定について**

	それでは次回開催予定でございます。 次回公共交通会議につきましては3月開催を予定しております。 協議事項としては、来年度予算及び計画の承認となります。 それでは皆さん、長時間にわたり、慎重審議いただき誠にありがとうございました。これをもちまして会議を閉会させていただきます。